

科目名	臨床心理学			ナンバリング	BSS331	授業形態	講義
対象学年	2年	開講時期	前期後半	科目分類	必修	単位数	1単位
代表教員	大島典子	担当教員					

授業の概要	臨床心理学の基礎的な知識を学ぶとともに、心の病気や心がもたらす様々な身体の病気に対する臨床心理的治療および患者への関わり方などについて学び、心理的援助への理解を深める。主な内容としては、心理的不調に悩む人々の心理と行動を理解するための面接・心理査定、援助するための心理療法・カウンセリングなどについて学び、基本的技能を身につける。						
到達目標	臨床心理学が目指す「心との付き合い方」について理解することができる。 臨床心理学という学問を通して「自己理解」を深めるように課題に取り組み、自分の状態を客観指標にて説明することができる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)	日頃から、現代社会における心の問題に目を向け、現代人のメンタルヘルス、メンタルケアの問題に意識をもってほしい。						
ディプロマポリシーとの 関連	【看護学部看護学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 広い視野と豊かな教養に基づき、看護の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を身につけている。					
		2. EBN(Evidence Based Nursing: 根拠に基づいた看護)に基づき、自律的に看護を実践することができる。					
		3. 生命の尊厳と人権を尊重する姿勢を身につけ、多職種と連携・協働することができる。					
		4. 地域の健康課題に関するニーズをとらえ、災害時の援助活動も含め、積極的に地域貢献できる能力と態度を身につけている。					
		5. 看護専門職として科学と看護の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的学修ができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
臨床心理学が目指す「心との付き合い方」について、理解することができる。 臨床心理学という学問を通して「自己理解」を深めるように課題に取り組み、自分の状態を客観指標にて理解することができる。	臨床心理学が目指す「心との付き合い方」について理解し、説明することができる。 臨床心理学という学問を通して「自己理解」を深めるように課題に取り組み、自分の状態を客観指標にて説明することができる。

評価方法	成績評価観点						評価割合
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	
定期試験(中間・期末試験)	○	○	○				50%
小テスト・授業内レポート	○	○	○				40%
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加			○	○			10%

課題、評価のフィードバック	提出された課題は翌週コメントとともに返却する。
---------------	-------------------------

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	臨床心理学とは ①人の心と「関わる」	・悩みや心の問題を抱えた人との関わりに関する臨床心理学からの理解	
	第2回	臨床心理学とは ②人の心を「わかる」	・悩みや問題を抱えた人の心を「わかる」ことの意味、その方法、および限界 ・専門的関わりについてワークを介しての理解 ・「人の心をわかろうと関わる」プロセスについて	
	第3回	臨床心理学とは ③人の心を「測る」方法	・心理検査による心理アセスメントについて	
	第4回	臨床心理学とは ③人の心を「測る」方法	・心理検査の体験、及び心理検査で得られる結果についての自らの洞察から、心理検査の意義を考える	
	第5回	ストレスについて①	・ストレスのメカニズム ・ストレス関連疾患について	
	第6回	ストレスについて②	・ストレス関連疾患にかかる人の理解	
	第7回	ストレスについて③	・対人援助職という心理的身体的負荷の高い職業につく人に共通するストレス、看護職として必要な自らの心のケアについて学ぶ	
	第8回	まとめ	これまでの学習のまとめ 確認テスト	
	第9回			
	第10回			
	第11回			
	第12回			
	第13回			
	第14回			
	第15回			
		試験		
授業の進め方	資料の説明と、ワークを用いて進めていく。ワークはその講義内で完成させ、提出する。			
授業外学習の指示	講義で説明した資料を用いて復習する。  (授業外学習時間: 毎週 90 分)			

教科書	使用しない。資料を配付する。
参考書	使用しない
参考URLなど	
その他	